

奈良県感染症情報

平成 28 年 第 23 週(6 月 6 日～ 6 月 12 日)
 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 病原体(ウイルス)検出情報(5月)

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	4.00	(4.50)	➡	⬇	➡	⬇
2	A群溶連菌咽頭炎	2.68	(2.18)	↗	↑	↗	⬇
3	流行性耳下腺炎	1.26	(1.59)	➡	➡	➡	➡
4	咽頭結膜熱	1.06	(0.97)	↗	↗	↗	⬇
5	伝染性紅斑	1.03	(0.32)	↑	↑↑	⬇	⬇

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**➡**横ばい、**⬇**やや減少、**↓**減少

◆ 県内概況 ◆

咽頭結膜熱は、増加傾向です。咽頭結膜熱は、プールでの感染があることからプール熱とも呼ばれています。幼稚園や小学校でプール開きがあると、感染が広がる可能性があります。プールの前後はシャワーを浴び、タオルの共有は避けるようにしましょう。

伝染性紅斑は、北部で増加しています。奈良市保健所管内では警報開始基準値の 2.0 を超えています。不顕性感染(感染しているが臨床症状を示さない)した人からの感染があるため対策は難しいですが、手洗い、うがいを忘れずに行い感染リスクを最小限にできるよう努めましょう。

流行性耳下腺炎は、横ばいです。

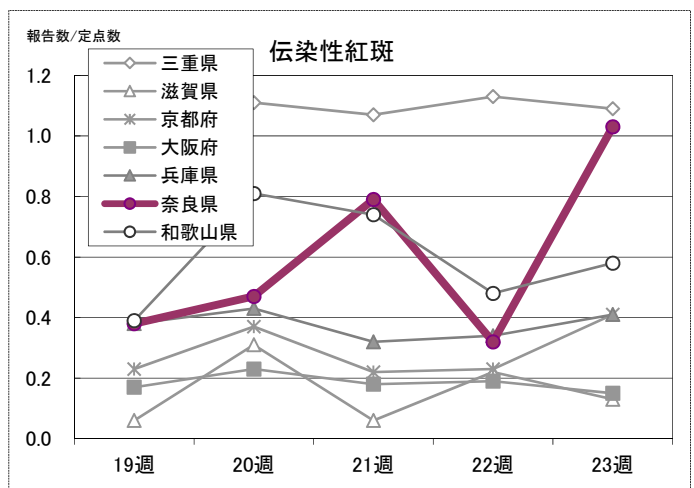
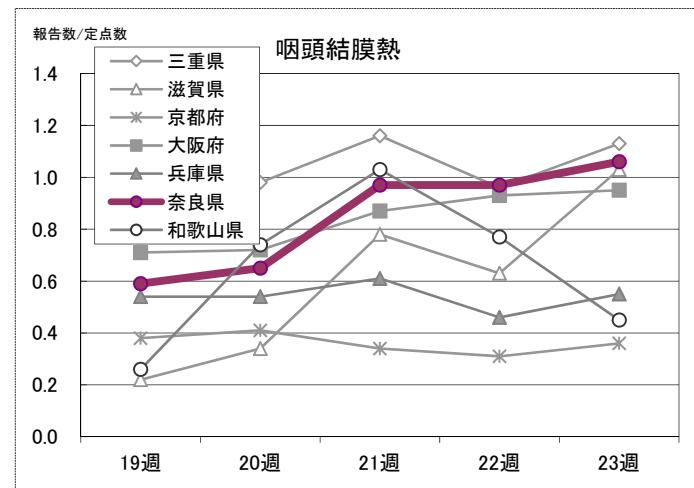
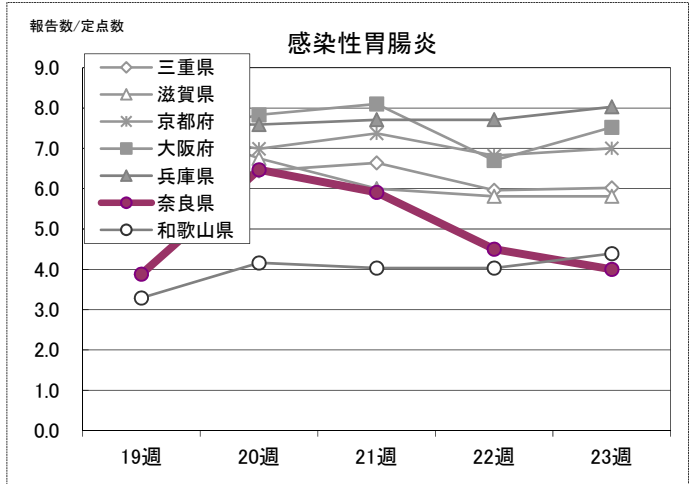
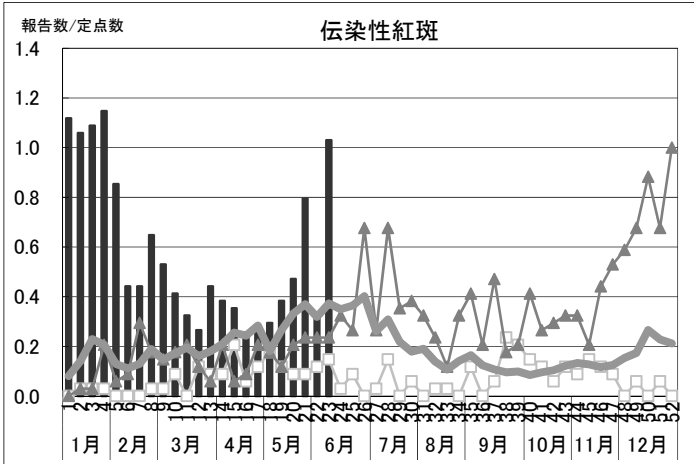
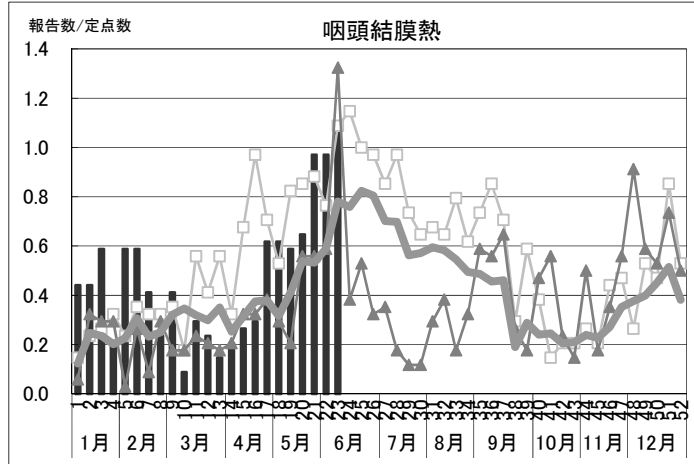
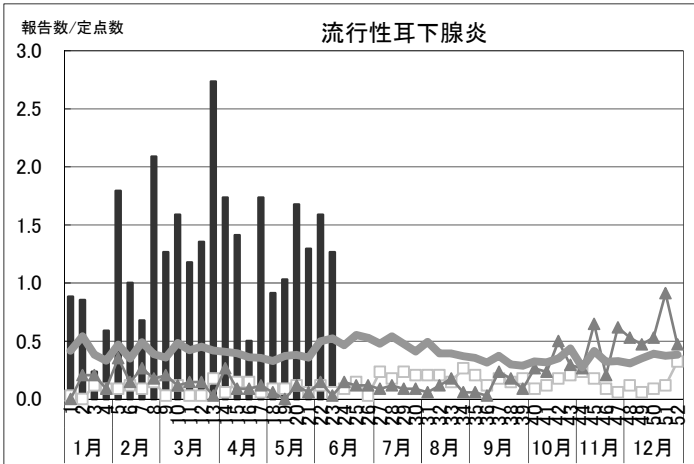
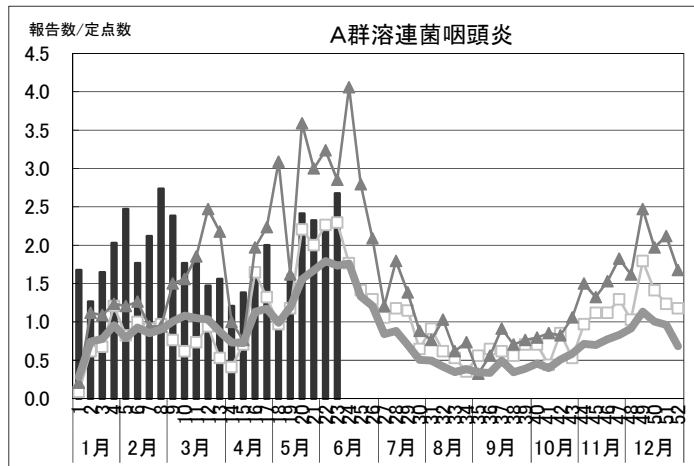
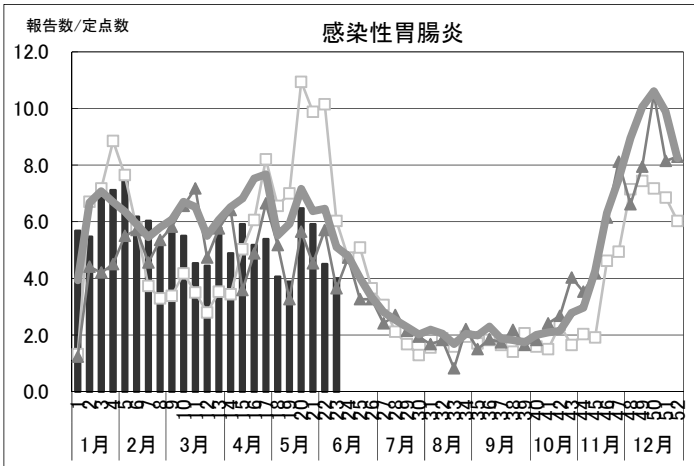
◆ 病原体(ウイルス)検出情報(5月) ◆

* ウイルス分離同日での集計結果

検出病原体		北部	中部	南部	その他	臨床診断名
A群ロタ	G2	2	3			感染性胃腸炎(4)、ロタ腸炎(1)
ノロ	GII		7			感染性胃腸炎(7)
サポ		2	2			感染性胃腸炎(4)
アデノ	1	1	1			発疹症(1)、急性気管支炎(1)
アデノ	2		1			インフルエンザ疑(1)
アデノ	5		1			感染性胃腸炎及び上気道炎(1)
パラインフル	1		4			急性気管支炎(3)、急性上気道炎(1)
ライノ	A	1	1			無菌性髄膜炎(1)、感染性胃腸炎(1)
ライノ	C	1				原因不明発疹症(1)
ヒトメタニューモ		1	1			hMPV感染症(2)
パレコ	1		1			発疹症(1)

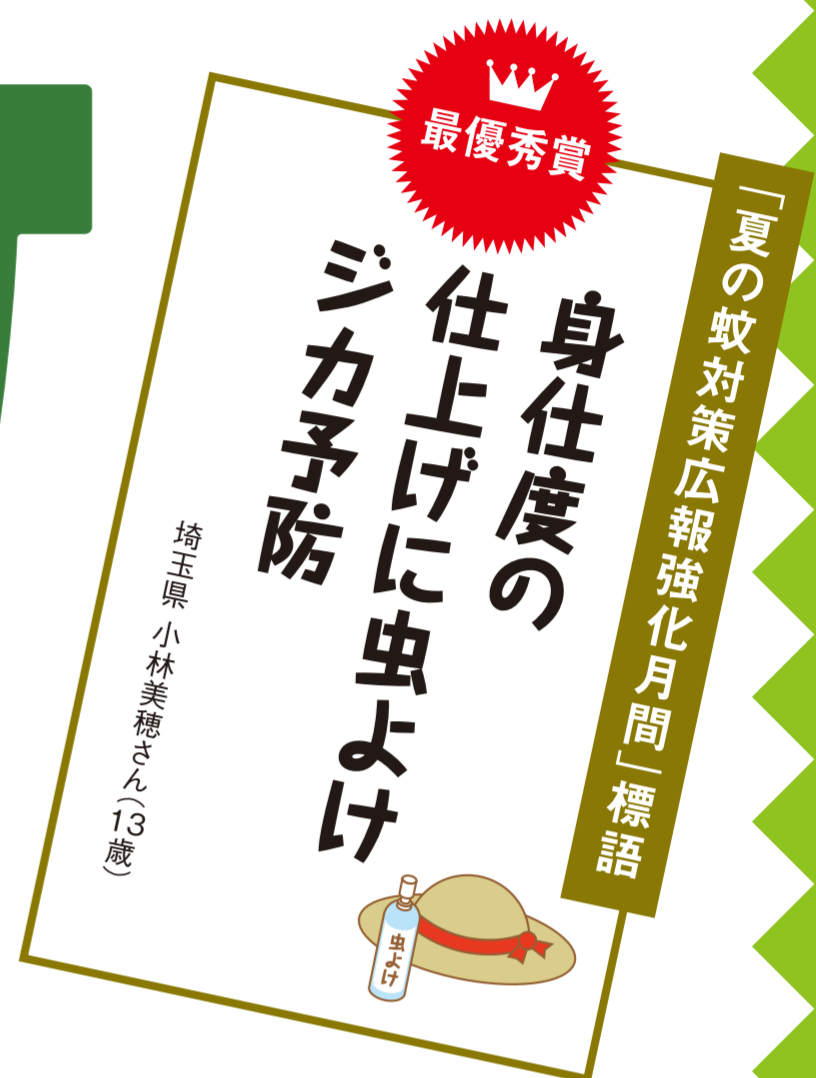
◆注目疾患の動向◆ 全て定点当たり報告数

■ H28 ▲ H27 □ H26 〰 過去10年平均



ジカ熱・デング熱対策

蚊の用心
ひと刺し用心



かゆいだけではありません!

ジカウイルス感染症(ジカ熱)やデング熱の原因となるウイルスは、それらに感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うことで感染を広げていきます。感染してもすべての人に症状がでるわけではありませんが、発熱や関節の痛み、発疹がでるといった症状が1週間ほど続きます。

ジカ熱は妊婦が感染すると小頭症などの先天性障害をもった子供が生まれたり、デング熱では出血を伴うデング出血熱となり重症化する可能性があります。

やぶなどの蚊がいそうな場所に行くときは、肌を露出せず、虫除けスプレーを使用するなど、いつでも蚊に刺されないように注意する、そんな習慣を身につけることが大切です。

また、流行地に渡航される場合は、現地で蚊に刺されないように注意しましょう。

ジカ熱やデング熱は蚊に刺されることで感染します。

[ヒトスジシマカ]

背中に1本の白い線とW字状の模様がある4.5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬ころまで活動します。雑木林や竹林などで繁殖し、主に藪・墓地・公園などに見られます。特に日中に活発に吸血します。活動範囲は50~100m程度です。

